

清流の国ぎふ芸術祭 アート体験プログラム

## アートラボぎふ

飛騨開催

**11/6** (日) 13:30~15:00

会場/飛騨高山まちの博物館

(高山市上一之町75)

定員/20名 要事前申込み

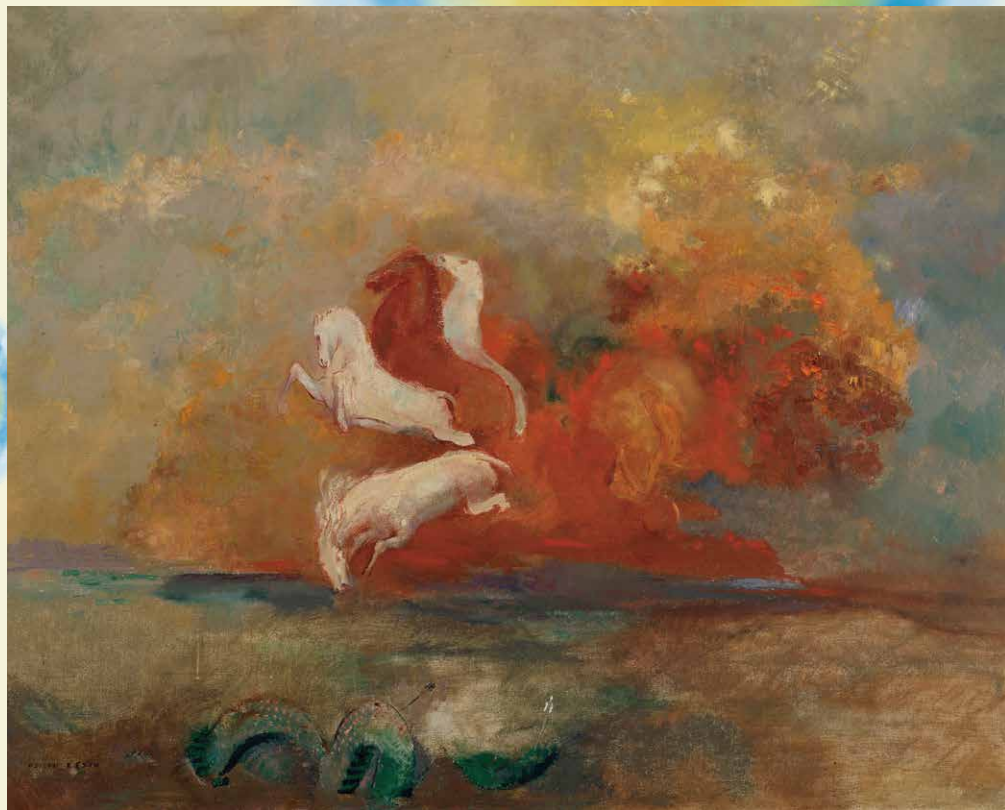
中濃開催

**12/11** (日) 13:30~15:00

会場/せきてらす (関市平和通4-12-1)

定員/20名 要事前申込み

参加無料



オディロン・ルドン《アポロンの戦車》岐阜県美術館所蔵

# アヴァンギャルドと現代アート

## 新しさに挑む心に触れる アート講演会

アヴァンギャルド(前衛)という言葉は第一次世界大戦(1914~18)頃に現れた新しい美術、すなわちシュルレアリスム(超現実主義)や抽象絵画を指すものでした。特にシュルレアリスムが後世に与えた影響は絶大で、美術のみならず芸術全般に及びました。

そのシュルレアリスムの先駆者としてオディロン・ルドンの名は忘れることができません。モーリス・ドニの作品「セザンヌ礼賛」(1900制作)には、尊敬するセザンヌの絵を取り巻くようにナビ派の画家たちが並び、その中心にルドンが描かれています。

印象主義を克服しようとしたナビ派の画家たちにとって、内面世界の表現に挑んだルドンは一歩先を行く先輩であり、後のシュルレアリストたちにとっても示唆に富んだ存在でした。印象主義やオディロン・ルドンの象徴主義は19世紀末のアヴァンギャルドであったと言えるでしょう。

今回は岐阜県美術館の至宝オディロン・ルドンと今日のアヴァンギャルドである「現代アート」に共通する“新しさに挑む心”の意義について考えてみたいと思います。



講師

**桑原 鑛司**

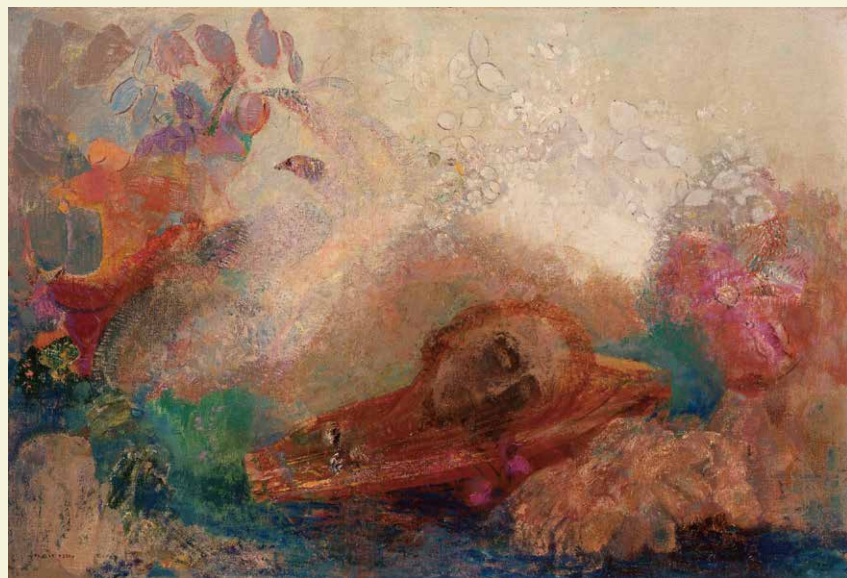
KUWABARA Hiroshi

洋画家

Art Award IN THE CUBE

企画委員会委員長

1979年 岐阜県美術館開設準備室勤務  
1982~86年 岐阜県美術館学芸員  
2009~12年 ヤマザキマザック美術館学芸室長  
2015年~ Art Award IN THE CUBE企画委員長



オディロン・ルドン《オルフェウスの死》岐阜県美術館所蔵



令和4年度 文化庁文化芸術創造拠点形成事業

主催 岐阜県

公益財団法人 岐阜県教育文化財団

詳しい申込方法は裏面をご覧ください

# アヴァンギャルドと現代アート 新しさに挑む心に触れる アート講演会

優れた芸術家は皆、時代の先駆者でした。モネ、セザンヌ、ゴッホ、ベルナール、ゴーギャン、ピカソ、カンディンスキー、モンドリアン、ダリ、エルンスト、デュシャン、ポロック。彼らはすでにあるものを拒み、まだ誰もやったことのないことに挑んで新境地を拓いた人たちです。ここにルドンの言葉を引きます。

「この絵というやつが、どんなにわれわれの精神をとらえ、しっかりつかんで離さないか、ということがわかっていただけたらな。夜、満足して床に就くでしょう。仕事がうまくいったと思って気も軽くなっているんですよ。ところがです。朝になって眼が覚めると、良識と分析の時がやってくるんです。欠点は何もかもはっきりと見えてくるんですよ、それで、もっとうまくやるだろうという希望を抱きながら、また仕事にとりかかる。たぶん、われわれの生涯の終わるまで、こんなふうにして続くんですよ。絵描きなんてほんとに哀れな連中です。」

(1972年 ブリゾー宛の手紙／栗津則雄 著「ルドン-生と死の幻想」美術出版社)

おのが創ったもの、これから創ろうとするものに対する自負と疑惑の繰り返し。真の芸術家の苦悩。時にはこれが彼ら芸術家を死に追い込むこと

も稀ではないのです。ジャクソン・ポロックやマーク・ロスコの死は、このような苦しみと無縁ではなかったと思われます。

さて、マルセル・デュシャンに端を発する現代アートは、まさに“新しいものに挑む心”の発露でありましょう。現代アートを一言で言うなら“自由表現”でしょうか。作家が自分の思うところをいかなる制限も受けずに制作するものです。現代アートは今日に至るまで、かつての絵画や彫刻のように確立されたジャンルではありません。したがって、人々の心を驚嘆にさせるような、誰もが認める“傑作”や“名作”はまだ存在していないと言ってもいいでしょう。それは評価の基準が定まっていないということに他なりません。作品を制作する人も、それを観る人も、それぞれの表現、解釈が許され、それに従ってそれぞれの評価がなされるというのが現状です。私の興味を引くのは、現代アートの作家たちに、ルドンのような、あるいはポロックやロスコのような、自作の存在意義について自問自答するだけの探究心があるかという点です。

はてさて、現代アートはこの先どんな展開を見せるのでしょうか。

桑原 鑛司

## 要・事前申込み

1人でも多くの方に参加・体験いただくために、参加の可否に関しては改めて事務局よりご連絡いたします。下記をご記入の上、FAXまたはメールにて「アートラボぎふ」事務局までお申込みください。

ご希望のお日にちに チェックを入れてください。		<input type="checkbox"/>	飛騨開催 <b>11/6</b> (日)	<input type="checkbox"/>	中濃開催 <b>12/11</b> (日)
代表者名	<b>必須</b>	(よみがな )		性別 ※自由記載	年齢
ご住所					
メールアドレス	<b>必須</b>	電話番号	<b>必須</b>		
ご参加人数	名(代表者様を含めた合計人数)				
※2名以上で参加される方はお連れ様全員のお名前(よみがな)、性別(※自由記載)、年齢を下にご記入ください。					
〈例〉	岐阜好子(ぎふよしこ) 女 ○○歳				

## 感染予防対策について

安心してプログラムに参加いただくために、参加者の皆さまに以下のご協力をお願いいたします。

- 当日は必ずマスクの着用、アルコールの消毒の実施にご協力をお願いします。
- 受付時に検温の実施、チェックシート(渡航歴や体調など)の記入にご協力をお願いします。
- 風邪のような症状がある方は、ご参加をお控えください。
- 以上の注意事項をお守りいただけない場合は、参加をお断りする場合があります。

- ※今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、内容の変更、開催時期の延期または中止とする場合があります。
- ※お申込み情報は本事業の運営のみに使用させていただきます。

 **0584-71-6130**  
FAX



**artlabgifu@ne-planning.com**  
E-MAIL

お問い合わせ

アートラボぎふ事務局 受付9:00-18:00(土日・祝日除く)

**0584-71-6133**

アートラボぎふONLINE内  
お申込みフォームからも  
お申込みいただけます。



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭  
「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～  
2024年10月14日(月・祝)～11月24日(日)